

特定テーマ 1 に対する企画提案

庭園都市 岡山市の魅力伝える場へ - 緑の屋根ときらめく水辺が迎える新しい駅前広場



概算工事費：20～30億円程度

特定テーマ 1 に対する企画提案

05 大通りと商店街への起点となる水辺空間



水盤のようにきらめく浅い噴水

設置する噴水は安全面や機能面を考慮し、水面の浅い仕様を想定します。太陽が気持ちいい季節には子どもたちが水に触れあえるようにします。噴水の端は場所によってベンチとなり、憩いの場を形成します。夜間はライトアップし、駅前広場の玄関口として人々を誘導すると共に、視認し易く魅力的な待ち合わせ場所としても機能します。



イメージ写真 (東京駅)



イメージ写真 (島根県グラントワ)



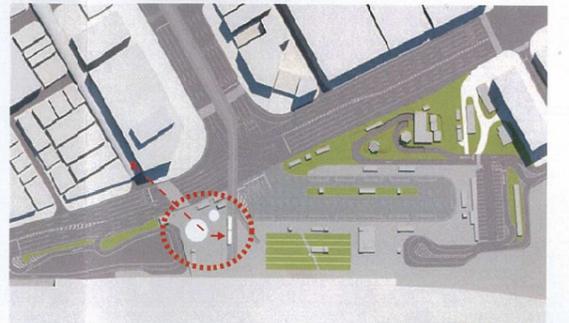
あつまる水辺の夜のイメージ

駅前商店街と岡山駅を繋ぐ「あつまる水辺」

路面電車が駅前に入り込むことで、商店街や桃太郎大通りへの歩行者動線の変化が懸念されますが、本計画では、駅前広場を分割するように路面電車が入り込むため、商店街に面した広場が自動的に形成されます。この広場をただ歩行者が通過する道ではなく、人が集まる場として位置付け、岡山市の豊かな水源をモチーフにした噴水と待ち合わせベンチを設け「あつまる水辺」と呼びます。

新たにデザインされた水盤のような噴水は市街地からのランドマークとなるだけでなく、駅前商店街を含めた市街地へのアクセスの起点となります。

また、噴水の水を抜けば広場としても活用でき、サブイベントスペースとしても活躍します。活動的な場としての性質をもつ「はじまりの丘」に対し、「あつまる水辺」は憩いの場としての性質をもち、デートの待ち合わせや、夏場の休憩場所として活躍します。



市街地への誘導起点になる駅前広場の玄関口